

富中だより



令和8年度合言葉

行きたくなる 居場所がある 成長できる学校

地域の力に感謝

校長 太田 諭

9月も下旬となり、秋らしさの感じられる日が多くなりました。今年の夏は比較的しのぎやすい暑さではありましたが、8月28日には線状降水帯が釧路町を含む釧路地方に発生し、激しい雷雨に見舞われました。本校も生徒の安全確保のため、2時間の繰り下げ登校としました。多様な危機への対応が求められていることを改めて実感しました。

そのような中、9月2日に、「一日防災学校」を実施しました。地震や火災を想定したVR（バーチャル・リアリティ）体験や避難所運営ゲーム「D.O.はぐ」、地震・津波を想定した避難訓練など、1日を通して防災について学びました。本校校区は、津波における冠水の危険があり、昨年8月のカムチャッカ沖地震では、実際に避難所が開設されています。津波の他にも様々な自然災害が日本各地で発生していることから、この取組の重要性は年々高まっているように感じています。この学習は、町の防災課をはじめ、多くの企業・団体の方々にご協力いただくことで成り立っています。改めてご協力くださった方々にお礼申し上げます。

9月16日には、富原地区学校運営協議会の主催する令和8年度第2回あいさつ運動「あい（I）・あい（eye）・あいさつ」を行いました。この取組も3年目を迎え、計6回目となりました。幸い過去5回とも雨にたたられることなく実施することができました。この日も快晴の秋空の下、無事実施することができました。6月17日の1回目と同様、学校運営協議委員の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様、北海道釧路東高等学校の皆様、釧路町教育委員会の皆様など、70名以上の方々に参加いただき、登校する富原小中学生と元気に挨拶を交わしました。本校生徒会書記局のメンバーも玄関前に立ち、登校する仲間と元気に挨拶を交わしてくれました。6回全てに参加くださっている方も多く、この取組が「日常」となってきたと実感しています。これこそがまさに目指していた「あいさつあふれる富原地区」の姿です。この姿がさらに進化することを願わずにはいられません。ご多用の中参加くださった皆様、本当にありがとうございます。

いました。今年度の取組は今回で終了となりますが、次年度も引き続き参加いただけると幸いです。

現在学校では10月2日（金）に開催予定の「富中祭」に向けた取組が進んでいます。当日参観される皆様に喜んでいただけるよう、各部門での準備・制作が進められています。この取組は、学年の壁を取り払った縦割りの活動となっていることから、先輩と後輩とが協働しています。そこから多くの貴重な学びが生まれることを期待しています。

10月2日（金）の富中祭当日は、ぜひとも多くの方々に来校いただき、本校生徒の輝く姿をご覧いただきますようお願い申し上げます。

保護者の皆様、地域の皆様には、改めて本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、今後とも本校の教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

先週「学校便り号外」として、「第1回学校評価の結果と分析」を発行しております。保護者の皆様、第1回学校評価へのご協力大変ありがとうございました。結果を真摯に受け止め、今後の学校教育活動の改善につなげてまいります。また、2学期末には、第2回学校評価へのご協力をお願いいたします。

1 日防災学校！

9月2日（水）に「1日防災学校」がありました！本校では学年ごとに課題をもって、1日すべて授業を“防災”について学ぶ貴重な機会として、毎年実施しています。

日本は災害大国です。日頃から「自分事」として災害への意識を高め、様々な機会を想定しながら防災について取り組んでいきます。ご家庭でもぜひ、身を守る安全についてお話してみてください。



3年生は町オリヅル教材「RAC」と避難所運営ゲーム「HUG」の実施。

2年生は「救命救急講習」



1年生は災害のVR・AR体験